

| 項目   | 確認事項   | 届出内容   |
|------|--|--|
| 基本情報 | 大学等名1(代表大学等)   | 山梨大学   |
|      | 大学等名1(代表大学等)※カナ  | ヤマナシダイガク   |
|      | 大学等名1(代表大学等)※学校コード   | F119110105676  |
|      | 大学等名1(代表大学等)学校本部所在地  | 山梨県  |
|      | 大学等名1(代表大学等)学校種別   | 国立大学   |
|      | 科目名  | インターンシップⅠ、インターンシップⅡ  |
|      | 学部・研究科等名   | 工学部、生命環境学部、教育学部、大学院  |
|      | 担当教職員名・役職  | 久本雅嗣・生命環境学部准教授、志村結美・教育学部教授、田中武夫・教育学部教授、武井貴弘・工学部教授、服部元信・工学部教授、小林拓・生命環境学部准教授、宝示一男・進路支援室長、山本和美・キャリアセンター特任教授、宇井利枝・キャリアディレクター   |
|      | 受講者数実績年度   | 令和3年度  |
|      | 受講者数※インターンシップ参加者数  | 98   |
|      | 受入企業等数   | 51   |
|      | 受入企業等名   | 甲府市上下水道局、YCC県民文化ホール、株式会社ネオシステム、株式会社オキサイド、株式会社内藤製作所、藤精機株式会社、シャトー酒折ワイナリー株式会社、敷島醸造株式会社、株式会社ワイ・シー・シー、株式会社YSK e-com、他   |
|      | インターンシップの分類  | 1.長期（概ね1か月以上）インターンシップ<br>5.他県をまたぐ広域インターンシップ<br>6.低学年（大学1年次～2年次程度）からのインターンシップ<br>7.大学院生を対象とした研究インターンシップ<br>8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ<br>9.中小企業でのインターンシップ<br>10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ |
|      | 上記以外のインターンシップの分類(記述欄)  |  |
| 要素①  | 1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。   | 1.はい   |
|      | 1-2.該当する就業体験   | 1.企業等における業務への従事<br>2.企業等における課題の解決（例：ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等）   |
|      | 1-2.で「3.その他」の就業体験の内容   |  |
|      | 1-3.上記回答内容に関する詳細   |  |
| 要素②  | 2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。 | 1.はい   |
|      | 2-2.該当するインターンシップの内容  | 3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している<br>6.当該インターンシップは、選択科目として実施している<br>8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している   |
|      | 2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容  |  |
|      | 2-3.当該インターンシップを実施する年次  | 大学 学部2年<br>大学 学部3年<br>大学院 修士1年   |
|      |  |  |

|                               |   |   |
|-------------------------------|---|---|
|                               | 2-4.当該インターンシップで付与される単位数   | 大学 1単位  |
|                               | 2-5.上記回答内容に関する詳細  | 1週間(40時間)以上で1単位、2週間(80時間)以上参加した場合は合計2単位とする。               |
| 要素③                           | 3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。 | 1.はい  |
|                               | 3-2-1.該当する事前学習の内容   | 1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている     |
|                               |   | 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている                         |
|                               |   | 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている               |
|                               |   | 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している      |
|                               | 3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容   |   |
|                               | 3-2-2.該当する事後学習の内容   | 1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている                          |
|                               |   | 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている        |
|                               |   | 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている                           |
|                               | 3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容   |   |
|                               | 3-2-3.該当するモニタリング  | 3.その他   |
| 3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容 | インターンシップ中に職員が企業を訪問し、受入担当者、学生と面談をしている  |   |
| 3-3-1.事前学習の内容に関する詳細           | 学部学科でインターンシップの目的、意義についての説明会を開催し、全学部対象で企業研究、参加手続きについての説明会を行っている。マナー講座、その他インターンシップに関わる講座の受講を促している                                     |   |
| 3-3-2.事後学習の内容に関する詳細           | 学部の各学科毎に成果報告会を開催し、学生はインターンシップを通して学んだこと、今後の課題、目標に対する達成度などを発表し振り返りを行い、担当教員からフィードバックを得ている。   |   |
| 3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細         | インターンシップ中に職員が企業を訪問し、実習中の様子、受入企業から学生に事前に身につけておいて欲しいこと、求める人材などを聞き今後の参考にしている。またインターンシップ終了後に振り返って感じたことなどを学生と企業の双方に聞いている。                |   |
| 要素④                           | 4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。   | 1.はい  |
|                               | 4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み   | 1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている |

|        |  |   |
|--------|--|---|
|        | 4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み  |   |
|        | 4-3.上記回答内容に関する詳細   |   |
| 要素⑤    | 5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。                      | 1.はい  |
|        | 5-2.該当する実施期間   | 1.連続した5日間以上の実施期間を確保している   |
|        | 5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合  | 5日間もしくは10日間、それ以上  |
|        | 5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合                                      |   |
|        | 5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合                                       |   |
|        | 5-2.「4.その他」の実施期間の内容  |   |
|        | 5-3.上記回答内容に関する詳細   |   |
| 要素⑥    | 6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。 | 1.はい  |
|        | 6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容   | 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している  |
|        | 6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容                                       |   |
|        | 6-3.上記回答内容に関する詳細   |   |
|        | 7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL         | <a href="https://www.career.yamanashi.ac.jp/business/101">https://www.career.yamanashi.ac.jp/business/101</a> |
| 問い合わせ先 | 大学等名   | 山梨大学  |
|        | 担当部署名  | キャリアセンター  |
|        | 担当者役職名   | キャリアディレクター  |
|        | 担当者氏名  | 宇井 利枝   |
|        | 電話番号   | 055-220-8240  |
|        | メールアドレス  | <a href="mailto:internship@yamanashi.ac.jp">internship@yamanashi.ac.jp</a>                                    |